

## 試験研究成果普及情報

部門	病虫害	対象	普及
課題名：ケブカトラカミキリ防除支援情報システム「けぶかとらなび」			
<p>[要約]「けぶかとらなび」は Microsoft® Excel® 2007 上で稼働し、成虫脱出開始時期及び脱出期間を推定するとともに、散布農薬の残効期間を即時にチャート化して示す。チャートにより、ケブカトラカミキリの効果的な農薬散布時期が判断できる</p>			
<p>キーワード<sup>※</sup> イヌマキ、ケブカトラカミキリ、防除、樹幹散布、有効積算温度</p>			
<p>実施機関名 主 査 農林総合研究センター・生産環境部・病理昆虫研究室 協力機関 海匠農業事務所、山武農業事務所</p>			
<p>実施期間 2009年度～2011年度</p>			

### [目的及び背景]

イヌマキは生垣や造形樹に利用が多く、県木としても親しまれている。平成 20 年 11 月、県北東部においてケブカトラカミキリによりイヌマキが衰弱・枯死する被害が初めて確認され、その後も被害が拡大し、大きな問題となっている。効率的な樹幹散布を行うためには、成虫脱出開始時期、薬剤の残効性及び最高気温の推移等を考慮し、防除時期を決定することが望ましい。そこで、防除時期を判断する根拠となる、脱出開始時期予測等の情報を視覚化して示す防除支援情報システム「けぶかとらなび」を開発する。

### [成果内容]

- 1 「けぶかとらなび」(図 1) は Microsoft® Excel® 2007 (以下、Excel) 上で稼働する。年次、アメダス地点を指定し、時別気温データを取得すると、成虫脱出に必要な有効積算温度の推移、予測脱出期間などの情報がチャート表示される(図 2)。
- 2 アメダスデータ取得はインターネット接続下、Excel の web クエリ機能により気象データ仲介ソフト MetBroker を介して自動的かつ即時的に行われる。
- 3 最新の有効積算温度が成虫脱出に必要な積算温度に満たない時点では、日平均気温の平年値+0.5℃による予測脱出期間が表示される(図 2)。
- 4 農薬散布日及び散布農薬名を選択入力すると、チャート上に農薬散布日及びその残効期間が表示される(図 3)。
- 5 脱出開始の予測日をもとに 1 回目の薬剤散布時期を、2 回目以降はその後の最高気温の推移や 1 回目の散布薬剤の残効性をもとに判断できる。

### [留意事項]

本システムを使用するためには、インターネットに接続する必要がある。

### [普及対象地域]

ケブカトラカミキリによる被害が確認されている地域

[行政上の措置]

本システムは、担い手支援課（TEL043-223-2907）に利用申請書を提出することにより入手できる。

[普及状況]

平成 24 年度の防除に利用した。

[成果の概要]

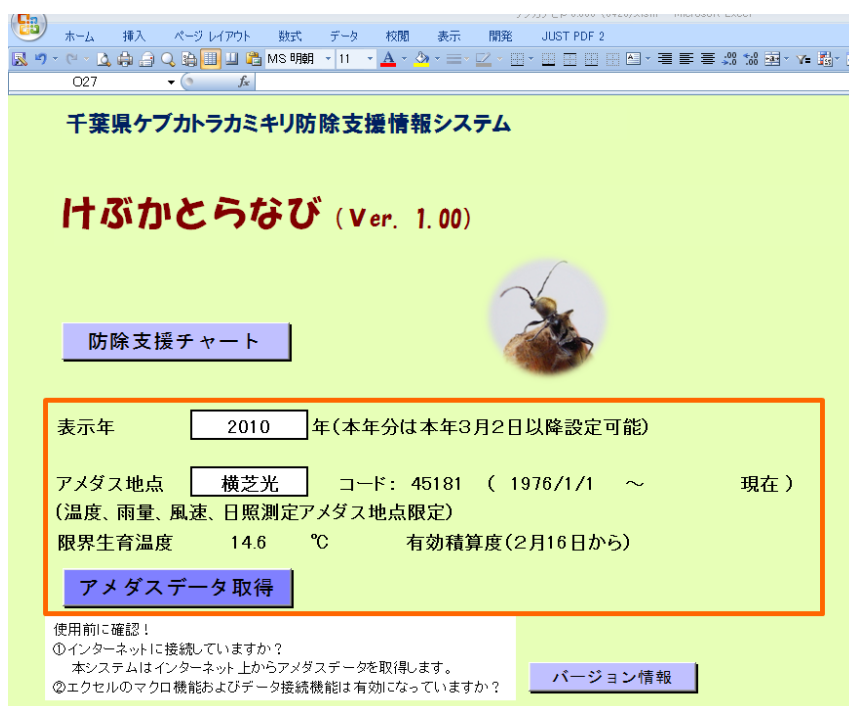


図 1 「けぶかとらなび」初期画面

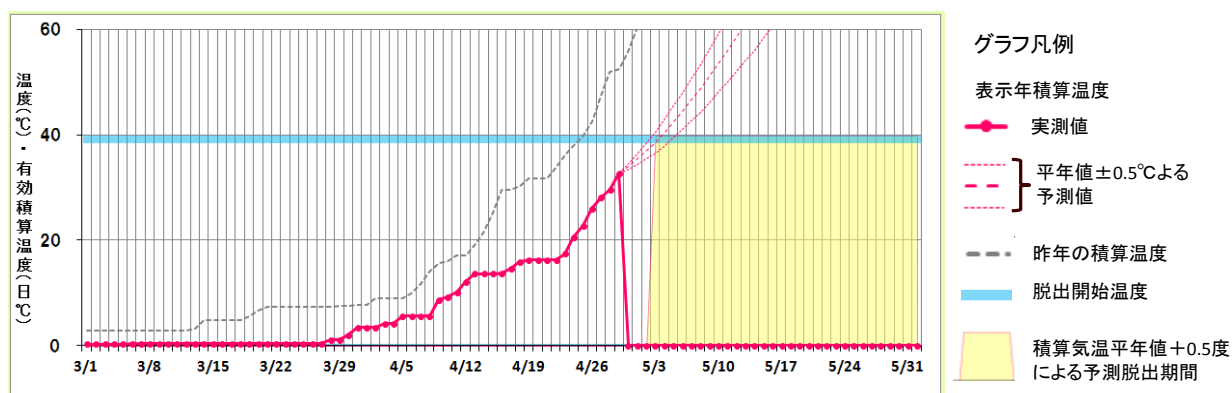


図 2 脱出開始積算温度到達前の出力画面例

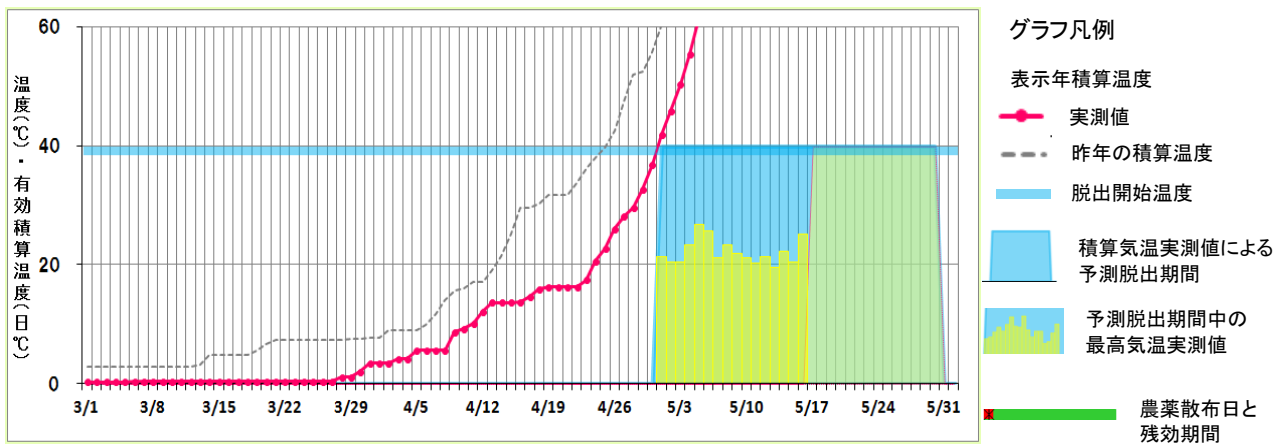


図3 脱出開始積算温度到達後の出力画面例

[発表及び関連文献]

- 1 平成 24 年度試験研究成果普及情報「イヌマキの害虫ケブカトラカミキリの脱出開始時期予測と薬剤防除対策の確立」、平成 24 年度
- 2 (独)農研機構中央農業研究センター成果情報「MetBroker から気象データを取得する Web アプリケーション」、2005 年
- 3 ケブカトラカミキリ防除支援情報システム「けぶかとらなび」の開発、森林防疫、第 61 巻第 6 号、2012 年

[その他]

平成 21 年度試験研究要望課題 (提起機関：海匠農業事務所)